

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8239
担当部課名	経済部	農政	課	農地整備 係
事務事業名	農道等用地購入事業		事業コード	31530

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第5節	都市農業の振興	13年度
施策名	第3施策	農地の保全と農業基盤の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

土地改良法

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
農耕車及び一般車両の通行の利便性の向上を目的とし、農道を整備するための用地を取得するもの。		農道受益者を含む一般市民	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
農道等用地購入事業 農道3路線 6筆 面積：47.31m ² 平成9年度に農道等用地として相模原市土地開発基金で取得した用地を買い戻す。 当用地については農道改良工事完了後に道路財産に移管するもの。		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額		11,003	11,003		
	人員・時間数		4h	4h		
	人件費		17	17		
	その他経費					
	合計	0	0	11,020	11,020	0
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 近年の農耕車両の大型化に伴い通作道も拡幅等の必要性が高い。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 : 土地開発基金での用地購入時において不動産評価を基に積算しており、用地購入価格においても適正である。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 農道用地として購入し整備を行った後市道として移管を行う。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 : 農耕車、一般車の通行の利便性の向上が図られている。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 農業基盤の整備として有効である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 判断する事業に該当しないため。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 判断する事業に該当しないため。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	今後においても時代変化に対応した農道整備のための用地購入として事業を実施する。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--